

福津市ではSDGs(持続可能な開発目標)の考え方を踏まえた環境保全に取り組んでいます

環境掲示板

市うみがめ課 ☎62・5019 FAX43・9005
E-mail umigame@city.fukutsu.lg.jp



蚊の発生を防止して感染症を予防しましょう

病原体を持っている蚊に刺されることで病気になることがあります。日本脳炎や平成26年に70年ぶりに発生したデング熱などは、蚊が媒介する病気です。そのため蚊の発生を防止することによって、病気のまん延を抑えることができます。

●蚊が血を吸う理由

蚊のメスは、産卵を行う栄養源にするために吸血します。生まれた卵は、約12日間で成虫になります。メスは1カ月以上生存し、数回にわたって産卵します。

●蚊の発生防止対策

成虫になった蚊の対策を行うよりも蚊の幼虫であるボウフラの状態での対策することが有効です。

蚊は水場に産卵します。そのため、身近な水場を減らすことで、水中で生活するボウフラを退治でき、蚊の発生を抑えることにつながります。

- ①たまり水をなくしましょう
- ②水がたまりそうな物を片付けましょう
- ③水をためている場合、ボウフラを退治するために、週1回は清掃や水の交換を行いましょ
うこれらを定期的に行い、蚊の発生防止に努めましょ
う。



▲たまり水を放置すると蚊が発生します

セアカゴケグモにご注意ください

特定外来生物の毒グモである「セアカゴケグモ」は、市内でも発見されています。

夏から秋にかけて活動が活発となる時期です。排水溝の側面やふたの裏、ブロック塀やエアコンの水抜き管、プランターのふちなどに巣を作ります。野外で作業するときは、手袋を着用しましょう。また、見つけても素手で触らないでください。

セアカゴケグモの特徴

成体の体長は約1cmです。足の長さを含めると3~4cmです。全体に光沢のある黒色で背面と腹面に目立つ赤色の模様があります。

かまれたときの処置

温水や石けん水で傷口を優しく洗い流し、できるだけ早く病院に行ってください。ただし、しびれや痛みが全身に広がったときは、救急車を呼んでください。

セアカゴケグモの駆除

クモ自体は、市販のピレスロイド系の家庭用殺虫剤で駆除できます。卵は、ビニール袋に入れて殺虫剤を噴射してから踏みつぶしてください。

また、セアカゴケグモを発見したときは、市うみがめ課までご連絡ください。



◀セアカゴケグモ